

付属クッション

- ① L字型クッション ×1個
- ② 台形クッション ×1個
- ③ カマボコ型クッション ×1個
- ④ クッション ×3個
- ⑤ 本体ジョイント調整クッション 厚さ:20mm ×1個
- ⑥ 本体ジョイント調整クッション 厚さ:10mm ×1個

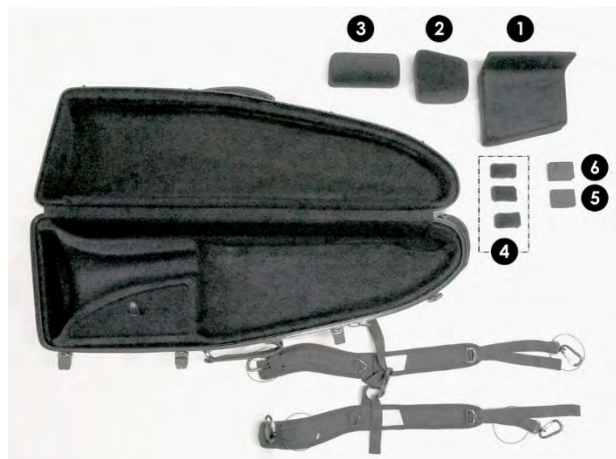


写真1

【スライド収納】

[写真1] ウォーターキーを下側にし、スライドを収納し、スライドが縦方向にうごかないようスライドの石付きゴムとケースの隙間をクッション④で固定してください。楽器の機種によりクッション④を2個ご使用ください。[写真2]

その後、[写真3] スライドが横方向に動かないようにL字型クッション①で固定してください。クッション①は、ベル収納時にベルのサイズに合わせてガタつきの少ない場所に配置するように調整をしてください。



写真2



写真3

【ベル収納】

[写真4] 小物入れの側面にクッション⑤、または⑥の本体ジョイント調整クッションを取り付けてください。(楽器により、適応する厚さが異なります。)本体ジョイント調整クッションを取り付けることで、ケースのベル収納部とベルの間に隙間ができるように調整してください。(衝撃防止のための隙間となります。)



写真4

⑤
または
⑥

[写真 5] ベルを収納し、側面のガタ付き防止のために

[写真 6] クッション④をバルブの横などに取り付けてください。



オープンラップモデルの場合【主管押さえ、本体押さえの調整】

[写真 7] 主管抜き差し管(チューニングスライド)が動かないように、台形クッション②を取り付けてください。



[写真 8] 主管抜き差し管、または F 管の上にカマボコ型クッション③をマジックテープ面が上側になるように置き、
[写真 9] ケースの蓋を軽く閉めてください。いったん蓋を開き、蓋側にカマボコ型クッション③が取り付けられていることをご確認いただき、楽器の収納は完了です。 [写真 10]

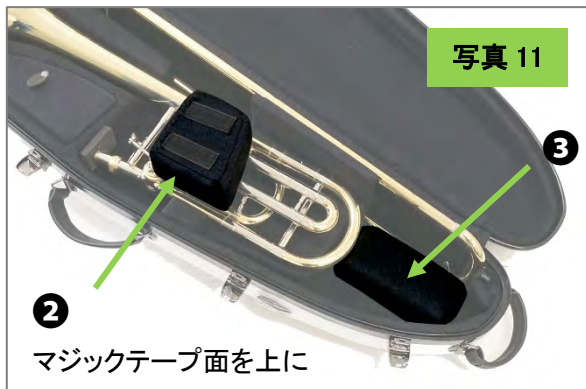


掃除棒

掃除棒は蓋側のポケットに収納できます。

トラディショナルラップモデルの場合【主管押さえ、本体押さえの調整】

[写真 11] 主管抜き差し管(チューニングスライド)が動かないように、カマボコ型クッション③を取り付けてください。台形クッション②をマジックテープ面が上側になるように置き、ケースの蓋を軽く閉めてください。



いったん蓋を開き、蓋側に台形クッション②が取り付けられていることをご確認いただき、楽器の収納は完了です。
[写真 12]

※こちらに掲載したクッションの配置は一例です。楽器本体収納の際は付属クッションをお持ちの楽器の各部位に合わせ、確実に調整をお願いいたします。
※楽器本体収納後は、ケースの留め金具を確実に締めてください。